

つづき

津付ダムだより

発行所

大船渡地方振興局土木部
津付ダム建設事務所

お問い合わせ先

〒029-2311
気仙郡住田町世田米
字川向 102-1
TEL 0192-22-8182
FAX 0192-46-3715
津付ダム公式ホームページ
http://www.pref.iwate.jp/~hp4580

津付ダムが

検証対象ダムに

平成22年度に事業が行われる136のダム事業のうち、事業の進捗状況、事業の性格等の観点から、次の3項目のいずれかに該当する47のダム事業については、検証の対象から除いて事業を継続して進めることが、平成21年12月25日に発表されました。

①既に、ダムに頼らない治水対策の検討が進んでいるもの。(熊本県の川辺川ダムが該当・1ダム)

②既存施設の機能増強を目的としたもの。(9ダム)

③平成21年11月までにダム本体工事の契約をおこなっているもの。(奥州市の胆沢ダムや遠野市の遠野第二ダムなどが該当・37ダム)

これらの項目に該当しない89【136マイナス47(①+②+③の合計)】のダム事業は、すべて検証対象とすることとされ、津付ダムも検証対象となっています。

検証対象となったダム事業は、「今後の治水対策のあり方に関する有識者会議」において平成22年夏頃に中間取りまとめを行うこととなっている新たな基準に沿って検証を行った上、その後のダム事業の進め方を改めて判断することとされています。

現在のところ新たな基準が示されていないことから、いつごろまでにどのような検証を行うかは不明ですが、示された段階で適切に対応していきたいと考えています。

質問コーナー ①

(質問) 津付ダム建設事業の完成予定年度はいつなのですか。津付道路の完成予定年度についても教えてください。

(回答) 津付ダム建設事業は、今のところ平成31年度を完成予定として進めています。また、ダムの建設により水没する現国道397号の付替道路(津付道路・延長約2.7km)は平成26年度頃の完成を目標としています。ただし、上記に示したように検証の対象となっていることや、今後の予算の状況などにより、完成年度が変更となる可能性も無いとは言いきれません。ダム、道路ともに早期の完成を目指して、事業に取り組んでいきます。

質問コーナー ②

(質問) ダムの耐用年数について、教えてください。

(回答) 耐用年数(たいようねんすう)とは、設備などがこわれずに使用できる年数のことをいいます。耐用年数≠寿命とも言うことができますかと思えます。

「減価償却資産の耐用年数等に関する省令(財務省令)」によると、ダム(コンクリートの場合)の耐用年数は80年と定められています。(※河川のコンクリート護岸は30年とされています。)

日本初のコンクリートダムである布引五本松(ぬのひきごほんまつ)ダム【神戸市の水道専用ダム】は、1900年(明治23年)に完成し、国の文化財にも指定されています。多少の補修を行いつつ、110年が経過した今でも立派に機能を果たしています。

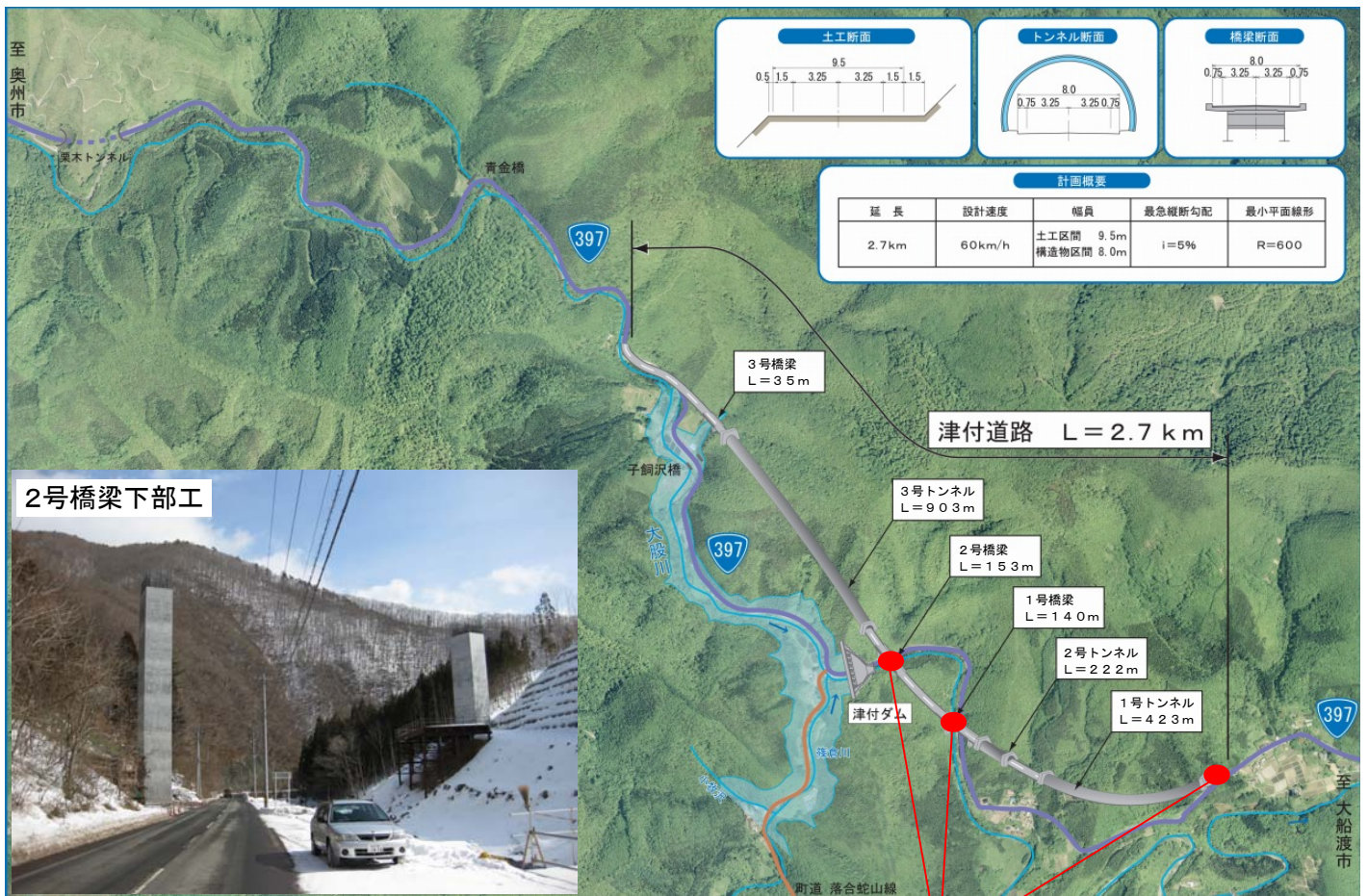
このことから、税法上定められた耐用年数と、実際に使用できる年数とは必ずしも同一ではないと思われるですが、みなさんはどのように感じられますか。

津付ダム付替国道（津付道路）の工事区間

本紙表面でも話題に触れていますが、住田町世田米字津付～子飼沢地区にて国道397号の付替国道工事を実施しています。

平成19年度に工所用道路に着工し、平成20年度は2号橋梁下部工に着手しました。工事が本格化してきたこともあり、平成22年1月には津付集落の方々を対象に工事説明会を行っています。

平成21年度末には1号トンネル築造工事の契約を予定しています。今後も早期完成にむけて工事を進めていきたいと思っております。



※ 平成22年2月現在着手箇所

公式ホームページ

津付ダムの公式ホームページは、今までどおり下記アドレスで、ご覧いただくことができます。

<http://www.pref.iwate.jp/~hp4580>

河川等への油の流出事故にご注意願います。

冬の寒さはまだまだ厳しく、暖房やボイラー等の灯油使用機会が多い時期です。もし油漏れを発見したら、すぐに消防署・警察署・市町村・県・国の機関等に連絡をしましょう。